祭 今年の夏に行われた盆踊り・納涼祭


今泉自治会(7/25, 26)


下丸子四丁目町会（7/25, 26）
ザ・リバープレイス自治会


多摩川ハイム自治会(8/1)


下丸子三丁目町会（8/1, 2）


矢口二丁目15・16号館
自治会(8/2, 3)


古市町会（8/7, 8）


下丸子東町会(8/23)


東京サーハウス自治会（8/30）


シエルズガーデン自治会(8/29)


アルス多摩川自治会（8/30）


矢口南町会（9/25, 26）

多摩川小学校の児童が踊ってくれました


古市町会(8/7)


矢口南町会(9/25)


矢口二丁目15・16号館
自治会(8/2)

そうめん流し


下丸子三丁目町会(7/25)

受賞おめでとうございます

◆警視庁池上警察署・池上防犯協会
地域の防犯活動感謝状
矢口地区民生委員児童委員協議会

≪行事案内≫

★多摩川清掃工場環境フェア2026
場所：多摩川清掃工場
日時：10月18日（日） 10時～14時30分
★矢口子どもフェスティバル2026
場所：東京都立矢口特別支援学校
日時：11月８日（日） 10時～15時 雨天決行
★大田区制80周年記念
大田区歴史的風致維持向上計画認定記念
令和８年度 矢口地区双盤念仏 特別公開
場所：今泉延命寺
日時：10月31日（土） 14時～16時
★古市町会 被災地復興支援フリーマーケット
場所：東八幡神社境内
日時：11月22日（日） 10時～14時 雨天決行

≪ねぇ？消防団体験しない？≫

場所：矢口消防署　西六郷出張所
日時：11月14日（土）
1部 消防団お試し体験　14時～16時
2部 花火警戒見学　16時～警戒終了

放水や資機材の体験、平和祈念花火の警戒見学など、普段では見られない消防団の活動を間近で体験・見学ができるイベントです。ぜひご参加ください。
詳しくは、下記の二次元コードからご確認ください。

申込はこちら　消防団員募集

≪編集後記≫

カレンダーをめくるたびに、季節の巡りの早さに驚かされます。秋彼岸を境に、日没の早まりや秋の気配が、私たちの日常にも変化をもたらしているようです。暑さが残る中ではありますが、木々の色が変わり始めるこの季節の空気感を楽しみたいものです。皆様が日々の生活の中で、健やかさと小さな幸せを感じられる秋となりますように。（森　英男）

大田区では「18色の緑づくり」を行っており、矢口地区では菜の花とジニア（百日草）を育てています。

地域情報紙
矢口トーク
The Yaguchi Talk

発行　地域力推進矢口地区委員会
編集　矢口トーク編集委員会
事務局　矢口特別出張所地域力推進係
〒146-0093　大田区矢口2-21-14
電話(3759)4686　FAX(3759)1492
ホームページアドレス
https://www.city.ota.tokyo.jp/kamata/ts_yaguchi
過去の矢口トークはこちら

矢口特別出張所管内の人口（10月１日現在）

人口	44, 543名	世帯	24, 510世帯

多摩川小学校防災活動拠点　風水害訓練

８月31日（月）、矢口特別出張所にて地域の防災力を高める「多摩川小学校の風水害訓練」が開催されました。近年増加傾向にある１時間50ｍｍ超の激しい大雨や線状降水帯による災害リスクを踏まえ、実践的な知識の共有と訓練が行われました。

訓練では、消防署講師より「自分は大丈夫」と思い込む正常性バイアスへの警鐘が鳴らされ、多摩川氾濫等で浸水想定が３ｍ以上となる場合に自宅２階から安全な域外へ移動する「水平避難」の重要性が解説されました。また、ハザードマップ（多摩川氾濫・高潮浸水・河川氾濫）の事前確認や、太陽光電源等による情報・通信手段の確保が呼びかけられました。

さらに、今年４月から導入された新しい「避難者受付管理システム」の操作訓練も実施されました。従来の紙カードに加え、「アプリ型」「スマホ型」「マイナンバーカード型」の計４方式が用意され、受付端末を通じて災害対策本部と避難所状況をリアルタイムで共有できる仕組みを確認しました。

災害への備えとデジタル技術を活用した受入体制の強化に向け、一人ひとりの意識を高める貴重な機会となりました。


講演の様子


操作訓練の様子

東京防災セミナー　古市町会

７月12日（日）、東八幡神社社務所で「首都直下地震への一人ひとりの備え」をテーマに、東京防災セミナー事務局防災アドバイザーの岡崎かおり講師によるセミナーが行われました。参加人数は24名。

今年起きた様々な災害を顧みると「幸せな日常は一瞬で奪われる」「想定される被害の様子や自分を守る事を最優先に行動する」「様々なタイミングで地震を想定して備える」などの講義を受けました。そして我が身の安全を確保した後（自助）周りの人と協力してひとりでも多くの人を助けること（共助）が重要であること。いざという時の備えや訓練を日頃から取り入れ、身を守る行動が出来るのだと感じました。

古市町会では７月26日（日）・31日（金）に訓練の一環としてラジオ体操のあとこども参加型によるポンプ車の放水体験やシェイクアウト訓練を実施し多くの方の参加を得ました。

※シェイクアウト訓練とは…しゃがんで身を守る行動を一斉に練習する「一斉防災行動訓練」。


セミナーの様子


放水体験の様子

矢口トークは「みんなで話し合って、明るく楽しい町づくりをしていきましょう」という意味を込めてつけました。